

第3回横芝光町学校適正配置等検討委員会
光地区分科会会議録

- 1 開 会 平成28年11月29日
小学校視察 午後1時
会 議 午後3時30分
- 2 場 所 横芝光町立図書館会議室
- 3 会議日程
○小学校視察
光地域：南条小学校→日吉小学校→東陽小学校→白浜小学校
- (1) 開 会
(2) 副委員長あいさつ
(3) 説 明 町民等意向調査アンケート内容について
(4) 協 議 意見交換
- 4 出席委員 19名
- 5 出席職員 事務局 教育課長 椎名富士男
教育課主幹 實川尚志
教育課総務班 山崎千恵

進 行 ただ今から「第3回横芝光町学校適正配置等検討委員会」を開
会いたします。はじめに副委員長からごあいさつ申し上げます。

副委員長 (挨拶)

進 行 ありがとうございます。それでは、議事進行につきましては
副委員長にお願いします。

副委員長 それでは、早速説明に入らせていただきます。

まず、説明の(1)について事務局から説明を求めます。

事 務 局 (説明)

副委員長 ただ今、事務局より説明がありました。説明された内容につい
て協議、意見交換を行います。今、事務局の方で一般町民、保
護者、教職員、児童生徒ということで、事前に資料を配布して
いただいてあったので、通しての説明とさせていただきました
が、1つずつやった方がわかりやすいと思いますので、今、説
明をいただいた順に一般町民から意見等ありましたらお願い

します。それでは一般町民へのアンケートということでお願いします。

委員 A 設問の中に「当てはまるものに○をつけてください。」「1つ選んで○をつけてください。」「最も当てはまるものに○をつけてください。」と「それぞれ○をつけてください。」といろいろな「○をつけてください。」とありますが、これもいくつかにしていただけたらいかかと思えます。

事務局 そのあたりは、他のアンケートにしてもほとんど同じことになりますので、検討させていただけたらと思えます。

委員 B アンケートをする前に全部を通してですが、基本的なデータがない。町の今の現状がどうなっているか。児童数、生徒数、それから、将来どのような状況になっていくか説明が抜けているのではないかと思えます。もう1つは、卒業生は出身校によって、他から来た人とか一般町民はそれによって内容が違ってくると思えます。ある程度思い入れがあるので、だいぶ違うのではないかと思えます。アンケートを取る前提条件のどうしてこういうことをしなければならないかという現状、各学校のデータとかをつけて、こういうことになるのだ、近い将来はこういう学校編成になっていくのではないかと思うのでアンケートをお願いしますと。そういう説明が必要だと思えます。

事務局 ご指摘のとおりだと思えます。委員の皆さまにも初回の会議の時に今の子どもたちの数がこうです、6年後になるとこれだけの数になってしまいますというご説明をさせていただきました。今回アンケートをやろうとしても、そういう前提の条件がない中でいったい何のためのアンケートだと思われる方が確かにいらっしゃると思えますので、今のご指摘に関してはアンケートの初めに入れるような形で検討したいと思えます。

委員 C 今と全く同じです。一般町民の間4で地区を聞いているので、地区別に集計をしないと意味がないと思えます。無作為だろうけれども、大総地区や南条地区で答えるのと、他の地区で答えるのでは意識がずいぶん違うのではないかと思えます。その他もそうですが、要するにどのくらいが多いのか少ないのか、一桁のクラスでやっている子どもたちに多いとか少ないとか聞

いても、だから、集計をするときにどういう形で集計するかということも考えて作っていった方が良いのかと思います。今、ちょっと気になったのは我々としては町民の意識を明らかにし今後の方向性をまとめるわけで、その方向性をアンケートに出してしまったら駄目だと思います。最初から意図してこういう方向に持っていくという方向が出ない形でのアンケートが良いかと思います。それから、通学時間とか通学距離とか通学方法については何をこのアンケートに求めているのかが見えないかなと思います。もっと大きな視点で話をすると、今日光地域を視察しました。いずれの学校も施設は素晴らしいです。だから、あんな素晴らしい施設のある学校をなくす方向で考えない方が良いのではないかと思います。問12になりますが、減少しないように町と連携して何ができるのかということも問16、17あたりに入れたらいかがか。現実問題、成田空港の話し合いにどちらにも行ったのですが、なかなか難しいと思いました。芝山ではすごく人口が減ってしまっているようです。現実にそうなってきたときにと考えると、だから、減少しないためにどういうことができるのか。教育委員会だけの問題ではない。先日も児童支援に対して横芝光町はどうかと質問させていただきましたが、そういうのを含めてそういう部分も1項目入れたらいかがかと思います。

副委員長 今の質問で言うと地区別についてと設問の関係ですがその他というところで書く欄を設けているので、その欄に書いていただければと意向としてはわかると思います。その辺、地区別の関係からどうでしょうか。

事務局 このアンケートを集計・分析する際にどうしても地区別で出てくると思います。あえて、この7地区を表示させていただいてありますので、その中で、先ほど大総地区の皆さんはどのように考えているのか、また東陽地区の皆さんはどのように考えているのかというのが当然そこで意向と言いますか考え方の違いが出てくると思います。それは構わないと思います。それを集計上のデータとして把握したいなと捉えています。

委員 C 年齢も保護者とか一般町民ならばとった方が良いと思います。

事務局 某地区では年齢の高い人は統廃合反対、保護者の方はという部分があるのでその辺のところも、大変かもしれないけれども。その辺のところはそれぞれの設問の属性の中から、リンクをしながら、例えば、60歳以上の高齢者は概ねこういう考え方だというような分析は出す考えでおります。それから、設問についてですが、実はこのアンケートを年明けに実施する予定でおります。そのために、今日、委員の皆さんからご意見をいただいて、最終的にこうしましたというのは会議の時間の関係上、きついかと思います。そのために、今日、光分科会と横芝分科会で同じ会議をやって意見をいただいているわけなのですが、それらの意見の調整を3つの分科会の総務調整分科会の委員の皆さんにお手伝いをいただきながら、ご意見をいただいたものに関して修正をして最終的なアンケート内容にしていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いしたいと思います。

副委員長 そういった意見が光分科会の方から出たということで、調整分科会で調整していただくことでよろしいでしょうか。

委員 D 一般町民のアンケートですが、どのくらいの数の予定なのか。その結果はこの会議の中で方向性を出すということですか。このアンケートの結果はどのように処理をするのですか。

事務局 予算を要求していますが、集計・分析・報告書の作成までを業者に委託する予定です。結果が出ましたら、それを見てまた委員さんに検討をしていただくという流れになると思います。一般の数は500名です。

事務局 一般アンケートは無作為抽出によりまして500人をお願いをしたいと考えております。集計関係は、今もありましたが、専門コンサルに委託をする予定であります。ですから、委員の皆さんでその集計作業をしていただくことは考えておりません。本来ですとコンサルに委託するのであれば、このアンケートの内容まで委託するのですが、これからアンケートの内容までコンサルに委託すると時間が半年位かかってしまうことになるので、このアンケートの内容については皆さんで考えていただいて、その集計業務、報告書の作成を業務委託するように考えています。

委員 D その結果はホームページ等で公表する予定はありますか。
事務局 もちろん、公表する予定であります。ただ、その場合、アンケート4種類の全部の設問とその回答数、こういう傾向にありますというのを載せるか、あるいは、総括的なもので概要版として載せるかは、まだ、決定はしておりません。

委員 D ということは、アンケートについては町民の方も見ると思います。その結果から、多いからそうなったというようにならないですか。例えば、統合だとか、やらないとか、アンケートを見て、統合した方が良いという方が多ければ統合になってしまうということなのか。それとも、統合反対だという意見が多ければ統合しないということになってしまうのか。見た人はそう思うと思います。

事務局 確かに、このアンケートを行ってみて、どちらの意見が多いのか、統廃合すべきというご意見が多くなるのか、現状のままで行くべきだというご意見が多くなるのか、それは開けてみないとわからないことだと思います。だからと言って、現状のままという意見が多くても、統廃合すべきという意見が多くても、それはアンケート結果として公表するつもりです。この会の方向付けというのは、このアンケートに基づく町民の皆さんの意識からこの委員会としてはどのような方向付けをしていくのかというのは、今の時点では、そのアンケート結果が出てから改めてご相談をということになるかと思えます。ただ、初回の会議の時に教育長も申しあげましたように、統廃合しなければいけないとか現状のまま行くのだというような結論ありきの方向で考えているわけではありませんので、そのあたりはアンケートの結果として理解をしたいと考えております。

委員 E 同じですが、現状分析ということによろしいのか。目的がはっきりしていなく、ぼんやりしていて。どこまでを我々がやれば良いのか。検討をしていただくという話はあるのですが。

事務局 確かに、今の町民の皆さんがどういうお考えを持っているかという、だから、現状分析の意味合いは多分にあるかと思えます。ただ、先ほど、このアンケートは方向付けがはっきりしない、いろいろな回答は求めない方が良くというご意見もありま

したので、そのあたりを考慮しながら調整分科会の皆さんと考えていきたいと思っています。

委員 E ある程度見えなければ、我々が検討することがどこまで検討したら良いのかということが問題になってくるのかなという気がするのです。あまり、とびぬけたこともできないでしょう。

委員 C 現状がこうだということを示して、それについてどう思われますかということをお聞きするアンケートだと思います。ただし、検討委員会または教育委員会の方向、町の方向として、統合の方向でいくとか、そうでない方向でいくとか、そのへんは明確になってはいけないと思います。そこだけ注意すれば、現状はこうなので今後どういうように考えていけばよいのかということをお聞かせくださいということだと思っております。そういう意味で通学時間が何になるのかなど。時間がかかろうが行かなければならないのですから。

副委員長 依頼の文については、細かく、わかりやすい説明、趣旨をしっかりと示すということによろしいですか。

委員 C そうです。

副委員長 結局、アンケートが上がってきたときに、我々の委員会でどの程度までということではないかと思うのですが、どの程度まで、反響もあると思いますし。参考にしながらどの程度まで、我々の話し合いで行くのかというところだと思います。最終的にアンケートが、当然、地区別などいろいろな項目別で結果はこうですということになるかと思っています。その辺のところはアンケートが上がってから皆さんに協議をいただくという形になると思います。

委員 F 関係してですが、500人という数が町民意識を集計できる数値だと私はとても思えないです。普通に考えたら500人が回収できたとして7地区あります。7地区の中に10代から70代までの7年代があります。調査結果を集約するということはその枝葉にいくつの数値が出るのか考えた時にここは10名だから多いねというレベルの話になってしまうと思います。それでは、住民からの意識調査やったという事実結びつくような数だとは思えません。

副委員長 一般町民向け500人と言いましたが、全体的な数を示していただきたいと思います。

委員 C 目標回収率が30%なんで、500にしたっていくつでもない。最初からそういうつもりでいる訳ですか。その辺の母体数がどうなのかと思います。

事務局 アンケートの想定している総数は一般で500人、保護者で1500人、教職員で200人、児童生徒で1000人の合計3200人の数を想定しています。

委員 D 保護者というのは小学生だけではなくて、保育園、幼稚園も入りますか。

事務局 中学生以下のお子さんのいる保護者になります。

委員 D 2歳とか3歳も入るとのことですか。

事務局 0歳まで入ります。このメンバーにも保育所や保育園、PTAの皆さんにも入っていただいております。先ほどこの委員会でどこまで話をするのかとありましたが、確かに、これからやるアンケートで町民の意向を探ろうとしているのはあります。ただ、それを踏まえた上で、委員さんはアンケートとは別に今後の町の適正化というものをどうのように考えて行こうかということをお考えいただくという目的でお集まりいただいておりますので、極端な話、アンケートで現状のまま続廃合しないという意見が多く出たとしても、この検討委員会の委員の皆さんは、やはり、それではまずいということであれば、そういう意見で委員会としてまとめていきたいと思います。

副委員長 今、500人という意見がありました。

事務局 この部数の関係ですが、どうしても郵送料など予算が絡んできます。今現在は500人という数の中での予算確保をしてありますので、数を増やすということについては、現時点ではご回答の方は保留をさせていただきます。今後の調整分科会との打合せの中でも検討していきたいと思います。

副委員長 他にはどうですか。

委員 G 問8で中学校の関係だと思いますが、中学校の学級数は12学級以上18学級以下、カッコして1学年あたり2から3学級が標準機簿ですとありますが、例えば1学年あたり2学級にした

場合に6学級、その辺のところは大丈夫ですか。6学級でないといけないのではないかと思います。

事務局 問8の事務局で想定しているのは、1学年あたりの学級数は何学級が良いですかという設問なので、1)の1学級とすれば、1学年1学級で、3学年で3クラス、3)の3クラスであれば3学年で9クラスという設問を想定しています。

委員 C 問7も問8も同じだから問8が間違っていると思います。問7は2学級で6学年だから12、3学級で6学年だから18が良いが、問の下のカッコ書きが小学校と同じとなっているのもう一度見てください。

事務局 わかりました。そこのところは整理をさせていただきます。

副委員長 その件につきましては、事務局で再度確認して訂正をさせていただきます。

委員 H まず1つ、一般町民と保護者は絶対に被ることはないですか。その中で一般町民向けに、ましてや小中学校に子どもがいないということになる方へのアンケートとなると、例えば、問6は40人が標準ですと書いてあります。問8以降は法令上ではという文書が入っています。そういうように書くと、当てはまる子どもがいない場合に40人が標準なら40人で良いという流れで選んでしまう方が多いと思われれます。そうすると、町としてどう考えているのかと言うよりは若干誘導されたようになって、そこに票が集まってしまう形になってしまおうと思われれますので、やるのであれば、こういう形の文章ではない方が良い気がします。

事務局 ごもっともなご意見だと思います。そのあたりも調整を含め検討させていただきたいと思います。

副委員長 この部分については調整分科会で再度検討してください。

事務局 このことについては他のアンケートにも関係します。一般と保護者は無作為ですが被らないように調整して、同じ人に2通行かないように配慮したいと思っています。

副委員長 それでは、時間の関係もありますので、一般町民のアンケートについてはいくつかご指摘をいただきましたので調整分科会で再度調整を図っていただくということをお願いします。それ

では、2番目に説明のあった保護者対象のアンケートについて
よろしくをお願いします。

委員 D 細かいところですが、保護者に10代はいますか。

委員 G 0歳児の保護者もいるのであり得ます。

委員 I 先ほど言われましたが、問6などの千葉県の学級編制基準では
35人という文言はやめた方が良いでしょう。

副委員長 先ほども申しましたが、カッコ書きについては再度調整分科会
で調整することをお願いしたいと思います。

事務局 保護者用の問5が一般のアンケートと異なるもので、あとの設
問は一般の設問と同じになっております。

委員 I 全体的に同じですが、この委員会を開催するということは子ども
がいないということだと思います。行政として少子化対策と
いうことでそれに対するアンケートも入れた方が良いでしょう。
こういうことに対しても町民からどういうことがして欲しいのか
そういうことを入れた方が良いでしょう。

事務局 先ほどのご質問の中でも子どもが減ってしまっていて仕方がないの
だから、子どもを増やしたらどうかという、その方向についての
設問を設けたらどうかということと関連するところだと思いますが、
ご意見としては伺っておきます。調整分科会にも諮りたいと思
います。ただ、事務局としても設問はなるべく少なくして回答
いただきたいという考えは持っていますが、せっかく行うアン
ケートですから、より有効な回答が得られて、それが資料とし
て有効であるなら設問の1つ2つ増したところでそんなに
変わるわけではないので、そのあたりも調整分科会に諮りたい
と思います。

委員 C 細かいところですが、問5、「(全校児童生徒数)」とありますが、
「あなたのお子さんの通っている学校の」の後に「全校児童
生徒数」と入れればカッコと次の「児童数、生徒数」はいら
ない。問5-2、「(1学級あたりの児童生徒数)」を「通っている
学校の」の後に入れれば次の「児童数、生徒数」はいら
ない。カッコをつけてあると読みづらかったのです、それを感じ
ました。それから、もう1つ。町がどうしているのかという
のではなくて、減少傾向にならないように良い案がないか
ということをお聞きしたい。

うような設問を入れたらどうか。

副委員長 その辺、直せるものは直すということでお願いします。引き続きまして、3つ目に説明しました教職員用のアンケートについてご意見等をいただきたいと思います。

委員 J その他の質問紙ですと地区だとか小学校区が入っているのですが、教職員は無いです。これは教職員に対する配慮かと思われませんが、学校によって職員の士気にはかなり差があると思うので、学校を聞かないでよいのかと思います。

事務局 調整分科会で調整させていただきます。

副委員長 今日は現役の先生方とOBの先生方がいらっしゃるので、お気づきの点をお願いします。

委員 D 問13「あなたのお住まいの地域」について職員については町外の職員もいますので変えた方が良くかと思います。勤務地とかに。同じ13ですが、5)「売却処分」はとありますが、現実的に可能ですか。

事務局 体育館については、小学校の体育館ということもありますが、地域の避難所としての機能も持たせた上で整備をしたものがありますので、体育館を売ることは厳しい問題ではあります。ただ、先生方に対する設問ではありますが、極論で空いてしまう施設であれば売ってしまった方がという考えを持っている方もいるとも限らない設問にしてありますけれども、一般の方と異なり、教職員対象としていますから、この件も検討させていただきます。

副委員長 現実的に売るのは無理ですけれども、それを聞くというのも。その辺もよく検討させていただきます。

委員 K 一般町民、保護者、教職員みんなに関係するのですが、教職員のところでは、問12 1)「適正配置検討地域」といきなり出てくるのですが、この「検討地域」というのはどこを指すのかなと思います。

事務局 検討いたします。

副委員長 次に進めさせていただきます。児童生徒のアンケートについてご意見をお願いします。

委員 C 児童と生徒と別々に作った方が良いと思います。そうすると、

「全校児童生徒」とあるのが、小学校だと全校児童、中学校だと全校生徒となります。問4の再編成とあるのですが、人数を増やすために学校の再編成を一つにする、学区あたりを変えていくということがあります。ですが、これは、児童生徒が考えるところではないように思うのですが、この辺のところ子どもに聞くというのはどうなのかなと思います。

事務局 小中で分けてはどうかというところと問4については検討させていただきます。ただ、小中分けるというのは小学校は5年、6年、中学生一緒というつもりでいたので、小学生に対しては言葉を易しくできることもあるので有効なのかなと考えております。

委員 D この児童生徒のアンケートは、各家庭に送られるのですか。それとも、学校でアンケートを書かせるのか。それによっては子どもが判らないということが出てくると担任が説明をしなければならないと。その辺はどうですか。

事務局 小中学生のアンケートについては、郵送は考えておりません。学校を通じての配布をお願いしたいと考えています。特に児童に対する説明や、担任の先生から説明をしていただくというところまでは考えておりませんでした。

委員 C 帰りの会5分くらいでやって、すぐ回収したら良い。家に持って帰ると親の意見も。帰りの会の5分で大丈夫だと思います。

委員 L 帰りの会の5分というお話がありましたが、教師の説明はできるだけ少なくした方が良いと思います。というのは、教師の意図が説明の中に入ってしまうことがある気がしますので、教師が説明しなくても済むような文言で児童生徒に、選択肢を選ぶようにした方が良いのではないかと思います。

副委員長 但し書きと同じで、先生がそのようなことを言ってたからそちらを○ということがあり得ますから。

委員 M 最後の質問「あなたは将来どんな人になりたいか」とあります。学校としては子どもたちの考えを知る上で大変貴重な意見ですが、この学校適正配置に関するアンケートということで、この子どもたちのアンケート結果をこのアンケート内容にどのように関係させるのか。アンケートの趣旨からどうでしょうか。

事務局 事務局としても子どもたちのアンケートの中でこの問6は非常に悩んだところでは。これを入れた方が良いのか、削っても良いのか、議論をした結果、案の中では入れる方向にしたわけです。今、校長先生がおっしゃるとおり、アンケートの趣旨、目的からするとこの設問は関連性があまり感じられないのではないかなとご指摘のとおりだと思います。この問6の内容を変えるのか、削除するのか、そのあたりも含めまして、調整検討させていただけたらと思います。

委員 N 最近、小中一貫校が増えているのですが、そのことは児童生徒のアンケートには書いていないです。それを入れたらどうかと思います。合併しない小中一貫校の枠もあって良いと思います。また、その他という欄はあるのですが、広く意見を聞く欄もあって良いかと思います。まとめることが大変かもしれませんが、意見欄という文書を入れるのはまずいですか。

事務局 アンケートの一番最後にご自由にお書きくださいというスペースのことかと思いますが。

事務局 確かにいろいろなアンケートをやっていますが、自由記載というのがもろもろ出てまいりますので、まとめるのは確かに手間ではあります。お意見を伺うという趣旨の中で、スペースを設けることですから、無理なことはありませんので、検討させていただきます。

委員 N 通っている子どもたちのためということで、子どもたちの意見を正直に聞きたい。一般や教職員だけでなく子どもたちの意見をもっと聞きたいと思いますがどうでしょうか。

事務局 貴重なご意見ありがとうございます。小中一貫という表現がございましたが、そのあたりの書き込みにつきましても含めて検討させていただきます。

委員 L 先ほど児童生徒アンケートの問6についてのご意見がありましたけれども、「あなたは将来どんな人に」という問いを最初の方に持っていったらどうかと思いますが。保護者の方にも全部入っていたかと思いますが、こういう子どもたちにしたい、こんな人になりたい。その後そんな環境の中でこういうふうにと持っていったらどうかと考えたのですが。こういう人になり

たいからこういう環境の中で学びたい。こういう人になって欲しい、ついてはこういう環境の中で育てて欲しい。という感じで持っていったらいかがでしょうか。

委員 C 何のためのアンケートかはっきりすると思います。保護者も学校を通じての配布ですか。

事務局 幼稚園、保育園、小学校、中学校に行っていないお子さんの保護者の方には郵送をする予定です。

委員 C 基本は幼稚園、保育園に配ってもらってということですか。

事務局 そうです。

委員 C 回収も。

事務局 そうです。

副委員長 他にアンケートに関しご意見がありましたら、お願いします。無いようなので、多くのご意見等出していただきましたので、これを取りまとめまして、調整分科会で諮ってもらおうようになると思いますので、よろしくお願いします。

委員 B 今日の会議の結果、調整分科会で決まったことの連絡は。

事務局 アンケートは1月に発送の予定としています。調整分科会は年末のお忙しい中ではございますが、12月に1度開催したいと考えております。この調整分科会で最終調整をして決定をして1月に発送する。後ほど担当から連絡がありますが、次回の検討委員会を1月の下旬に第4回目を予定していますので、この4回目の時にこのようにアンケートにしましたということでお示しする予定です。

副委員長 その他でございますが、何かありますか。アンケート以外について。よろしいですか。そうしましたら、一応、協議事項も終わりましたので、議長を解かさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

【終了時間】 午後4時16分